

M t .Kogashi

会報誌第 21 号

発行人池田正夫

発行日 令和 3 年 11 月 5 日

事務局 〒320-0811

宇都宮市大通り 2 丁目 4 番 18 号

NPO 法人 古賀志山を守ろう会

<https://npo-mt-kogashi.jimdo.com/>

E mail npo.mt.kogashi@gmail.com

1 北尾根入口・長倉山付近の階段整備

福岡町細野の森林公園駐車場から入山する北尾根の階段整備に着手した。材料のヒノキ材の先端部は国有林を管理する日光森林管理署からの寄贈。ヒノキ材の半割行程は宇都宮森林組合長の福田嘉男氏のご協力があったことを付記しておく。階段設置に至るまでには幾つかの行程がある。会員の地道な作業の結実である。

●は階段設置個所



2 風穴道の道普請



風穴道は馬頭岩の付根にある「風穴」に至る参道である。その横を流れる風穴沢が土砂と流木で埋まり、越水した水が風穴道を削り、深い溝を形成していた。当会では地主の了解を得て、風穴道の道普請を行った。風穴沢の土砂と流木を取り除き、沢本来の流れに戻し、参道の深い溝に岩石を埋め旧道を復活させた。

3 古賀志山周辺地図板の設置



宇都宮市観光交流課のご高配により掲示板「古賀志山周辺図」が完成した。設置場所等は市当局で選定され、駐車場の電話ボックス付近に決定。設置作業は当会に委託された。

地図の範囲は古賀志山、細野山および国本地域の鞍掛山を含む古賀志山周辺図である。QRコード付。活用されたい。

4 倒木伐採



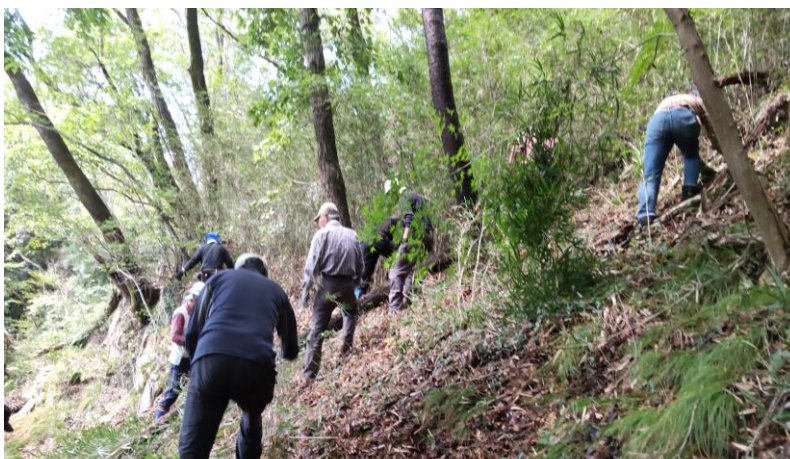
現場は古賀志山主稜線の中岩と御崎尾根の間にある通称「胎内くぐり岩」付近。
チェーンソーによる伐採作業を行った。
これにより「雨乞岩」への通行が容易になった。

5 カタクリ群生地の下草刈り・倒木処理



中尾根のカタクリ群生地には篠竹が繁茂し侵略したため下草刈りを行った。
3月下旬、カタクリの開花期には多くの登山者が訪れるこの地は、木製階段の両側からの見通しが良くなり楽しみである。

6 モミジ谷の下草刈り・倒木処理



晩秋の圧巻は、北コースの通称「広場」から近い距離にある通称「モミジ谷」の紅葉である。モミジが秋の化粧を施す期間中、この谷間は明るい空間を演出する。

7 宇都宮市消防局 火災防止の看板付設



宇都宮市消防局では足利市両崖山の山林火災を教訓にして、古賀志山山系にも「火の用心」の看板を付設した。

当会が設置した道標等の支柱に取り付けたもので、付設箇所は全部で11か所。

春先の乾燥期に古賀志山山系から火災を出さないための注意喚起の看板である。

8 会員の皆様をお願い 監視の目を

「山草は撮るもの、採るものではない。」これが登山者のマナーです。

「昨日まで咲いていた花が今日行ったら見当たらない。」といった現実に直面された会員も居られる筈です。



例を挙げますと、「キンセイラン」や「サイハイラン」、「双葉葵」など。このような場合は植物名と共に「before」、「after」の写真を添えて送信ください。当会では保全活動の一環として植物の保護活動を行っています。HPに公開して、批判の多い草花の採取に歯止めを掛けたいと思います。

9 HPに「古賀志山の花」を掲載

賛助会員平田恭子さんのご厚意により、「古賀志山四季の彩り」と題して、四季を彩る花々を選び、春編、「夏編」、「秋編」、「冬編」にまとめて掲載させていただきました。画像をクリックすると、スライドショーでも楽しめます。